

午後 試験

問 1

出題趣旨
<p>ビジネスの IT への依存度が高まる中、システム監査の必要性はますます高まっている。一方で、監査対象の拡大や複雑化によって、システム監査人自体も IT 監査技法を用いて、効率よく、効果的な監査を実施する必要が出てきている。</p> <p>本問は、監査目的や監査対象に応じてどのような IT 監査技法を用いて監査手続を実施すべきかについて、具体的に論述することを求めている。</p> <p>本問では、システム監査人として、IT 監査技法を用いるための基本的な能力や、IT 監査技法を適用する場合の留意点についての理解度を評価する。</p>

問 2

出題趣旨
<p>情報システムが業務と密接にかかわっている状況において、情報システムの新規構築や機能改良、ハードウェアの更改などが絶えず行われている。その中でも外部から調達する比重が大きく、限られた予算の中でいかに適切な調達を行うかがますます重要になってきている。</p> <p>本問は、重要な監査領域の一つとなってきた情報システムの調達管理の監査について、具体的に論述することを求めている。</p> <p>本問では、情報システムの調達におけるリスクを踏まえて、調達管理の適切性や調達の効率性について、監査を実施する場合の監査手続を具体的に設定する能力と洞察力を評価する。</p>

問 3

出題趣旨
<p>近年、多くの組織において不祥事が頻発した結果、組織には、従業員の行動などをモニタリングし、不正行為の予防、発見、対応などを確実に行うことが求められるようになってきている。また、組織の情報をより有効に活用するために、情報利用者の行動をモニタリングし、分析する組織も増えてきた。</p> <p>本問は、このような社会的背景と情報システムを用いたモニタリングの構築と監査について、具体的に論述することを求めており、論述を通じて、情報システムを用いたモニタリングのメリットと問題点を踏まえた運用のあり方と、監査上の着眼点を評価する。</p>